

GP-PRO/PB for Windows  
機器接続マニュアル  
補足版

Rockwell (Allen-Bradley) 製  
SLC500 シリーズ  
(イーサネット通信)

株式会社 デジタル

## GP-PRO/PB for Windows 機器接続マニュアル補足版の読み方

本補足版はGP-PRO/PB for Windows 機器接続マニュアル(PLC 接続マニュアル)のRockwell(Allen-Bradley)製PLC(イーサネット通信)に関する箇所の抜粋です。

なお、PLC接続に関する一般的な説明、マニュアル表記のルールに関しましては、お手元の機器接続マニュアル(PLC接続マニュアル)をご覧ください。

Factory Gatewayをご使用になる場合は、本書中のGP/GLCをFactory Gatewayと読み替えて接続してください。

## インストールについて

CD-ROMに入っている作画・通信用のファイルをパソコンにインストールします。この作業はすでにパソコンに下記の対象ソフトのいずれかがインストールされていることを前提とします。(ソフトウェアのインストールについては、各「オペレーションマニュアル」参照)。作画・通信用ファイルはご使用になるすべての対象ソフトウェアにインストールしてください。

### 対象ソフトウェア

- ・GP-PRO/PB for Windows Ver.6.1以上
- ・Pro-Server with Pro-Studio for Windows Ver.4.1以上<sup>\*1</sup>

対象ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

CD-ROM内のファイル(SLC505E.exe)をダブルクリックし、起動させてください。

セットアップが始まりますので、指示通りにインストールを行ってください。

- 重要** ・ SLC500シリーズをイーサネット通信にて使用する場合、GP-PRO/PB for WindowsのPLCタイプから[その他] [Allen Bradley SLC5/05(ETHER)]を選択します。

---

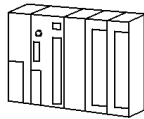

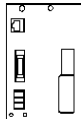
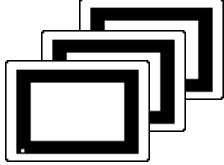
\*1 Factory Gateway、GP-Web Ver.1.0以上およびGP-Viewer Ver.1.0以上を使用する場合は、インストール先にPro-Server with Pro-Studio for Windowsのフォルダを選択します。

## 8.8 Rockwell(Allen-Bradley)製

### 8.8.1 システム構成

Rockwell(Allen-Bradley)製PLCとGP/GLCをイーサネット接続する場合のシステム構成を示します。

#### SLC500 シリーズ

CPU	リンクI/F	使用可能ケーブル	ユニット	GP/GLC
				
SLC5/05	CPU上のイーサネットI/F	イーサネットケーブル IEEE802.3規格 準拠相当品	(株)デジタル製 GP070-ET41 GP377-MLTE11 GP377-MLTE41 GP077-MLTE41	GP/GLCシリーズ <sup>*1</sup>

\*1 対応するGP/GLCおよびオプションイーサネットI/Fユニット使用の可否、内蔵イーサネットポートの有無については、下記の通りです。

シリーズ名	商品名	オプションイーサネットI/Fユニットの使用可否	内蔵イーサネットポートの有無	
GP77Rシリーズ	GP-377Rシリーズ	GP-377RT	○ <sup>*1 *2</sup>	×
	GP-477Rシリーズ	GP-477RE	○ <sup>*2</sup>	×
	GP-577Rシリーズ	GP-577RS	○ <sup>*2</sup>	×
		GP-577RT	○ <sup>*2</sup>	×
GP2000シリーズ	GP-2300シリーズ	GP-2300L	×	○
		GP-2300T	×	○
	GP-2400シリーズ	GP-2400T	×	○
	GP-2500シリーズ	GP-2500T	○ <sup>*3 *4</sup>	○
	GP-2501シリーズ	GP-2501S	○ <sup>*2 *3</sup>	×
		GP-2501T	○ <sup>*2 *3</sup>	×
GP-2600シリーズ	GP-2600T	○ <sup>*3 *4</sup>	○	
GLC2000シリーズ	GLC2300シリーズ	GLC2300L	×	○
		GLC2300T	×	○
	GLC2400シリーズ	GLC2400T	×	○
	GLC2600シリーズ	GLC2600T	○ <sup>*3 *4</sup>	○

\*1 マルチユニットのみ使用可能です。

\*2 2Wayドライバ(Pro-Server、GP-Webなど)は使用できません。

\*3 オプションイーサネットI/Fユニットを使用する場合は、別途バス変換ユニット(PSL-CONV000)が必要です。

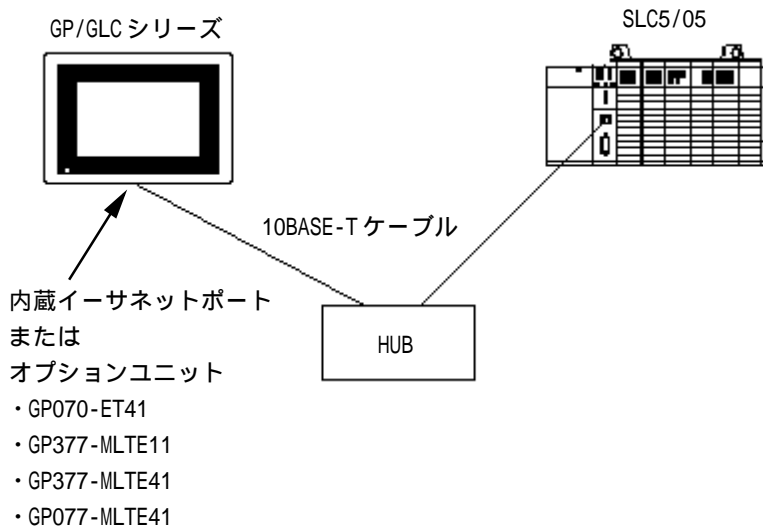
\*4 オプションイーサネットI/Fユニットを使用した場合は、2Wayドライバ(Pro-Server、GP-Webなど)のアプリケーションで使用できるネットワークと、PLCで使用するネットワークを別々のクラスやネット番号にすることができます。その場合、PLCと通信するのはオプションイーサネットI/Fユニット側となります。



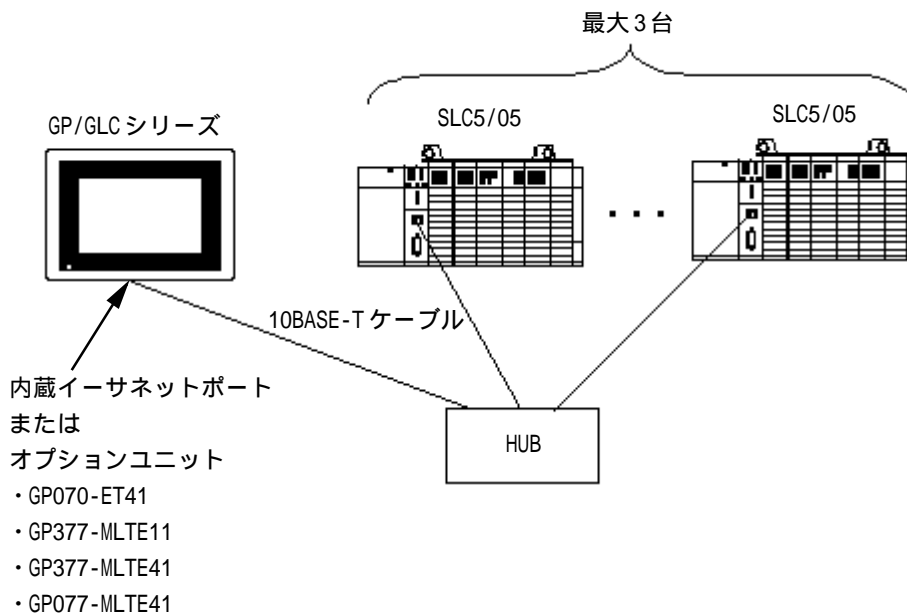
・ ケーブル接続、およびオプションユニットにつきましては、各オプションユニットユーザズマニュアルを参照してください。ただし、GP2000 および GLC2000 シリーズにつきましては、本体のユーザズマニュアルを参照してください。

接続構成

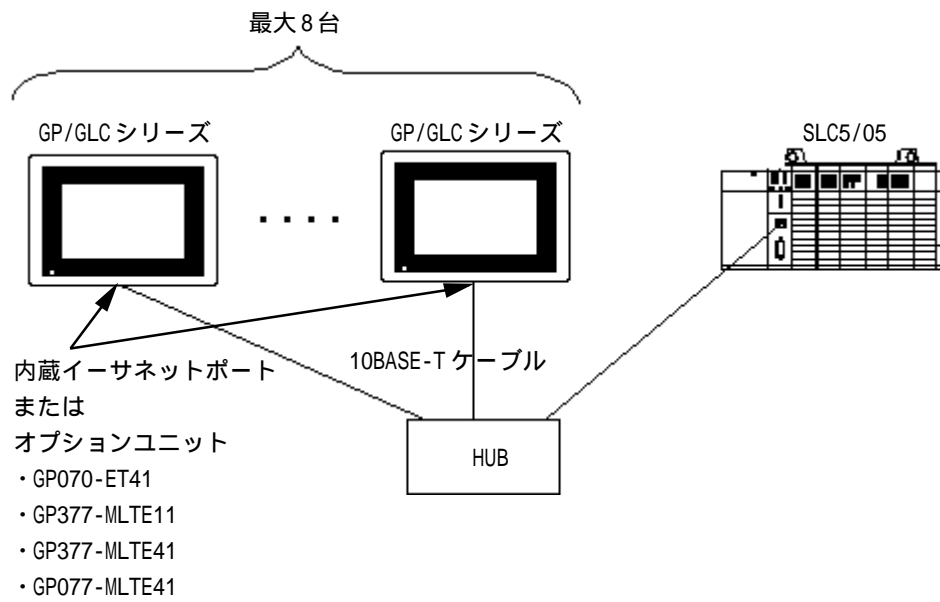
<1:1 接続構成例>



<1:n 接続構成例>



## &lt;n:1 接続構成例&gt;



## 8.8.2 使用可能デバイス

GP/GLCでサポートしているデバイスの範囲を示します。

### SLC500 シリーズ

15 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
ビット	B3:0/0 ~ B3:255/15 B9:0/0 ~ B255:255/15	B3:0 ~ B3:255 B9:0 ~ B255:255	H/L
タイマ (TT : タイミングビット)	T4:0/TT ~ T4:255/TT T9:0/TT ~ T255:255/TT		L/H
タイマ (DN : 完了ビット)	T4:0/DN ~ T4:255/DN T9:0/DN ~ T255:255/DN		
タイマ (EN : イネーブル)	T4:0/EN ~ T4:255/EN T9:0/EN ~ T255:255/EN		
タイマ (PRE : 設定値)		T4:0.PRE ~ TP4.255.PRE T9:0.PRE ~ T255.255.PRE	
タイマ (ACC : 現在値)		T4.0.ACC ~ T4:255.ACC T9.0.ACC ~ T255:255.ACC	
カウンタ (CU : アップカウント)	C5:0/CU ~ C5:255/CU C9:0/CU ~ C255:255/CU		
カウンタ (CD : ダウンカウント)	C5:0/CD ~ C5:255/CD C9:0/CD ~ C255:255/CD		
カウンタ (DN : 完了ビット)	C5:0/DN ~ C5:255/DN C9:0/DN ~ C255:255/DN		
カウンタ (OV : オーバーフロー)	C5:0/OV ~ C5:255/OV C9:0/OV ~ C255:255/OV		
カウンタ (UN : アンダーフロー)	C5:0/UN ~ C5:255/UN C9:0/UN ~ C255:255/UN		
カウンタ (UA : アップデート)	C5:0/UA ~ C5:255/UA C9:0/UA ~ C255:255/UA		
カウンタ (PRE : 設定値)		C5:0.PRE ~ C5.255.PRE C9.0.PRE ~ C255:255.PRE	
カウンタ (ACC : 現在値)		C5:0.ACC ~ C5:255.ACC C9.0.ACC ~ C255:255.ACC	
コントロール (DN : 完了ビット)	R6:0/DN ~ R6:255/DN R9:0/DN ~ R255:255/DN		
コントロール (EN : イネーブル)	R6:0/EN ~ R6:255/EN R9:0/EN ~ R255:255/EN		
コントロール (ER : エラー)	R6:0/ER ~ R6:255/ER R9:0/ER ~ R255:255/ER		
コントロール (UL : アンロード)	R6:0/UL ~ R6:255/UL R9:0/UL ~ R255:255/UL		
コントロール (IN : インハイビット)	R6:0/IN ~ R6:255/IN R9:0/IN ~ R255:255/IN		
コントロール (FD : ファンド)	R6:0/FD ~ R6:255/FD R9:0/FD ~ R255:255/FD		
コントロール (EU : アンロード有効)	R6:0/EU ~ R6:255/EU R9:0/EU ~ R255:255/EU		
コントロール (EM : スタッフ空)	R6:0/EM ~ R6:255/EM R9:0/EM ~ R255:255/EM		
コントロール (LEN : レングス)		R6:0.LEN ~ R6:255.LEN R9.0.LEN ~ R255:255.LEN	
コントロール (POS : ポジション)		R6:0.POS ~ R6:255.POS R9.0.POS ~ R255:255.POS	
整数		N7:0 ~ N7:255 N9:0 ~ N255:255	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span> H/L
浮動小数点		F8:0 ~ F255:255	L/H

**重要** Pro-Server with Pro-Studio をご使用になる場合

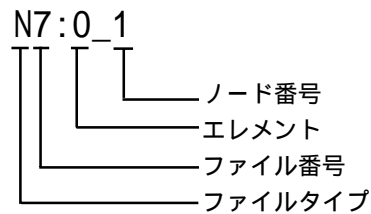
- ・ 上記デバイスをアクセスするためには、Pro-Server with Pro-Studio V4.1以上が必要です。また、別途設定が必要となります。詳細につきましては Pro-Server with Pro-Studio オペレーションマニュアルを参照してください。
- ・ Pro-Server with Pro-Studio V4.1 未満のバージョンでは L S エリアのみアクセス 可能です。



- Rockwell(Allen-Bradley)製PLCでは、各デバイスデータはエレメントから構成されます。GP-PRO/PB for Windowsでは、デバイスおよびアドレスは以下のように入力します。

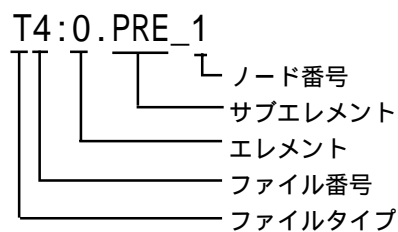
- デバイスN、B、Fのワード指定の場合

入力後の表記



- デバイスT、C、Rのワード指定の場合

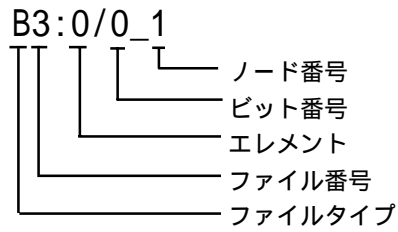
入力後の表記





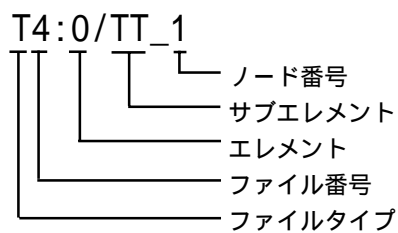
・デバイスN、Bのビット指定の場合

入力後の表記



・デバイスT、C、Rのビット指定の場合

入力後の表記



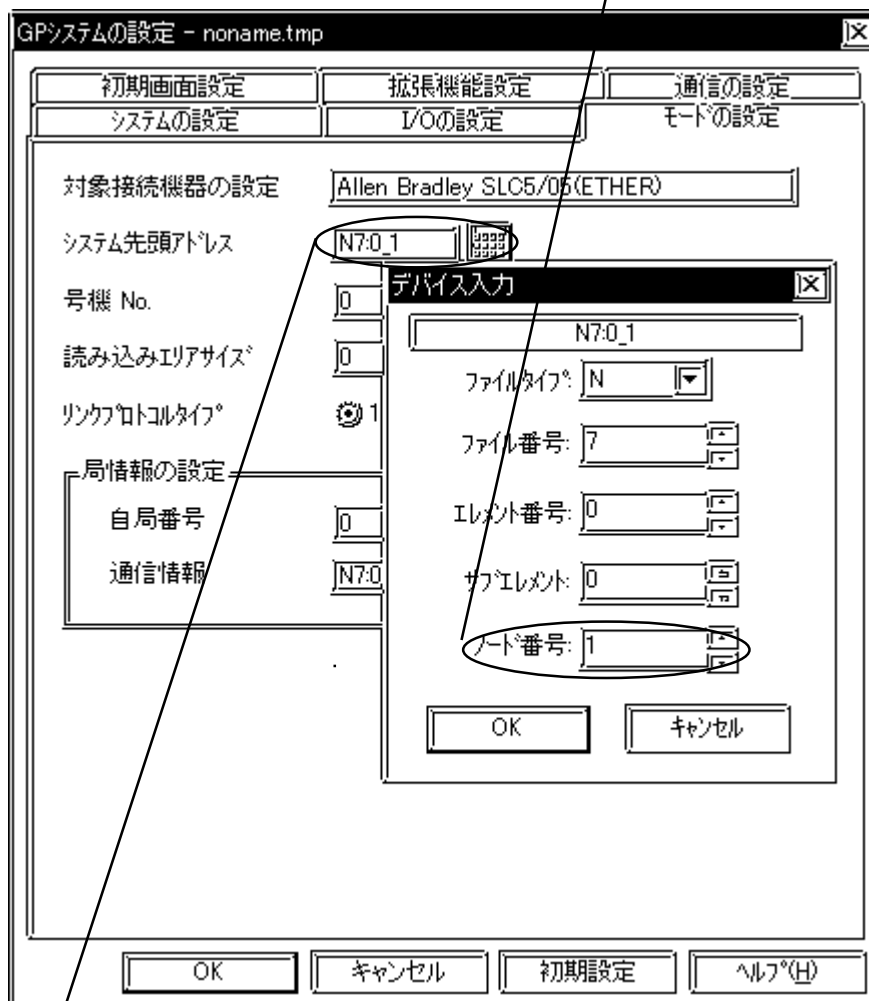
GP-PRO/PB for Windows で部品やタグの設定を行う場合

部品やタグの設定を行う前に、ネットワーク情報の設定が必要です。ネットワーク情報の設定は、「GPシステムの設定」「モード設定」「ネットワーク情報」で設定します。

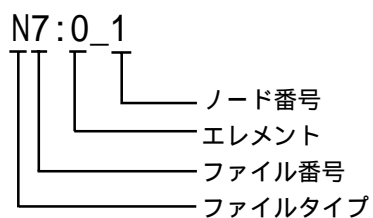
参照 本マニュアル 8.8.3 環境設定例 モードの設定

ネットワーク情報で設定した相手先のPLCのノード番号を部品やタグの設定時に指定することで、相手先のPLCを指定し、その指定したPLCのデバイスを読み書きすることができます。

指定した番号のPLCにシステム先頭アドレスが割り付けられる。ここで指定するノード番号は、「モードの設定」-「ネットワーク情報」の相手局ノード番号で設定されたものです。



アドレスの表記



SLC500イーサネットプロトコルの制限事項

SLC500イーサネットプロトコルでは、以下の制限事項があります。

1) デバイスアドレス数と接続ノード数の制限

ファイル番号が異なるか、もしくは異なるノード番号のデバイス設定を行うと、使用できるデバイスアドレス数が制限されます。GPではデバイスを設定するために内部的なレコードを使用します。その内部レコードは最大64個までとなっています。例えば、N7:0のデバイス設定を行うとGPの内部レコードを1個分使用します。以下に具体的な例を示します。

例1) 下記のようなタグ設定をした場合のレコード数

設定 No.	ノード番号	デバイスアドレス	Pro/PB で作成できる残レコード数	備考
1	1	N7:0	63	1レコード分消費
2	1	N9:0	62	1レコード分消費
3	2	B10:0	61	1レコード分消費
4	2	B11:0	60	1レコード分消費
5	1	N7:255	60	ノード番号およびエレメント番号の範囲が設定No.1ですすでに存在するので、レコード数は消費されない。
6	2	B10:255	60	ノード番号およびエレメント番号の範囲が設定No.3ですすでに存在するので、レコード数は消費されない。
7	3	N12:0	59	1レコード分消費

上記のように異なるノード番号またはファイル番号を使用すると内部レコードが消費されます。

例2) ファイル番号N10 ~ N19を連続してタグ設定すると、10個のレコードが消費されます。したがって、ファイル番号N10から連続で設定した場合は、N73まで使用できます。



- レコード数が65以上になると、GP-PRO/PB for Windows上で以下のようなエラーが表示されます。  
「デバイスアドレス数が上限を超えています。これ以上設定できません。」

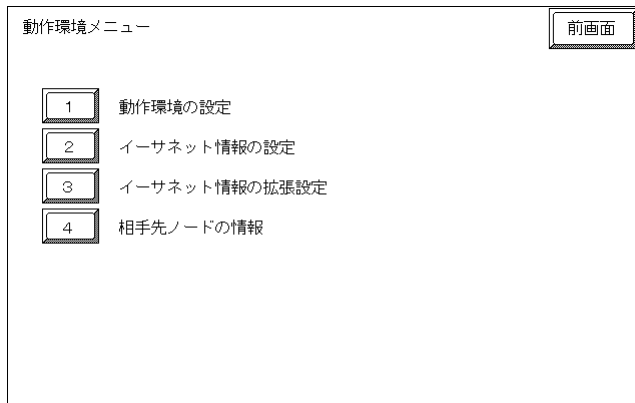
### 8.8.3 環境設定例

#### GP 側の設定

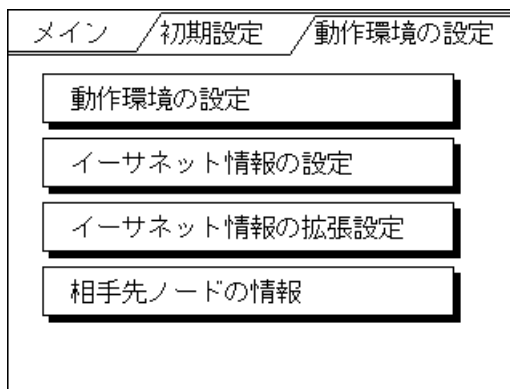
イーサネットで通信するためのGP/GLC側の通信設定を示します。

#### 動作環境メニュー

<GP-477R/GP-577R/GP-2400/GP-2500/GP-2501/GP-2600/GLC2400/GLC2600 シリーズ>



<GP-377R/GP-2300/GLC2300 シリーズ>



・動作環境の設定

<GP-477R/GP-577R/GP-2400/GP-2500/GP-2501/GP-2600/GLC2400/GLC2600 シリーズ>

動作環境の設定		設定終了	取り消し																														
システムエリア先頭アドレス	[ N																																
システムエリア読み込みエリアサイズ	[ ]																																
書き込みエラー時のGPリセット	有 無																																
<p>注意 システムエリア先頭アドレスは、この画面では変更できません。 作画ソフトで変更してください。</p>																																	
<table border="1"> <tr> <td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td><td></td><td>↑</td><td>↓</td><td>BS</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>←</td><td>→</td><td></td> </tr> </table>					1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		↑	↓	BS													←	→	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		↑	↓	BS																			
												←	→																				

<GP-377R/GP-2300/GLC2300 シリーズ>

動作環境の設定		設定	取消
システムエリア先頭アドレス	N	<input type="text"/>	
システムエリア読み込みエリアサイズ		<input type="text"/>	
書き込みエラー時のGPリセット		<input type="text"/>	
<p>システムエリア先頭アドレス設定は作画ソフトで 変更してください</p>			



注意 . オフラインからシステム先頭アドレスは変更できません。GP-PRO/PB for Windows の「GP システムの設定」「モードの設定」から設定してください。

参照 本マニュアル 8.8.3 環境設定例 GP-PRO/PB for Windows の設定

### ・イーサネット情報の設定

「イーサネット情報の設定」を選択し各項目を設定します。

<GP-477R/GP-577R/GP-2400/GP-2500/GP-2501/GP-2600/GLC2400/GLC2600 シリーズ>

<GP-377R/GP-2300/GLC2300 シリーズ>

#### ・自局 IP アドレス(0 ~ 255)

GPのIPアドレスを設定します。IPアドレスは全32ビットを8ビットごとの4つの組に分け、それぞれをドットで区切った10進数で入力してください。

#### ・自局ポート番号(1024 ~ 65535)

GPのポート番号を1024 ~ 65535で設定します。

**禁止** ・ IPアドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複するIPアドレスは設定しないでください。

**重要** ・ GP2000シリーズで、内蔵イーサネットポートを使用する場合、「自局ポート番号」は、2Wayドライバのポート番号と重ならないように設定してください。2Wayドライバのポート番号は、「初期設定」「動作環境の設定」「拡張設定」「イーサネット情報の設定」で確認できます。デフォルトで8000が設定されています。2Wayドライバは、この設定から連続して10のポート(8000 ~ 8009)を使用します。「自局IPアドレス」が0.0.0.0の場合は、2Way側で設定されたIPアドレスが有効になります。

・イーサネット情報の拡張設定

<GP-477R/GP-577R/GP-2400/GP-2500/GP-2501/GP-2600/GLC2400/GLC2600 シリーズ>

イーサネット情報の拡張設定										設定終了	取り消し		
送信ウェイト	[ ]	(ms)											
タイムアウト値	[ ]	(x 2sec)											
IPルータアドレス	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
サブネットマスク	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
UDP通信リトライ回数(0-255)	[ ]	回											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	↑	↓	BS
											←	→	

<GP-377R/GP-2300/GLC2300 シリーズ>

イーサネット情報の拡張設定										設定	取消
送信ウェイト	[ ]	(ms)									
タイムアウト値	[ ]	(x 2sec)									
IPルータアドレス	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
サブネットマスク	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
UDP通信リトライ回数(0-255)	[ ]	回									

・送信ウェイト (0 ~ 255)

GPからのコマンド送信時にウェイト時間を入れることができます。通信回線上のトラフィックが多い場合、ご使用ください。設定が必要ない場合は、0に設定してください。

・タイムアウト値 (0 ~ 65535)

タイムアウト値です。設定した時間内に、相手局より応答がない場合タイムアウトになります。0に設定すると、デフォルト値としてUDP/IP通信の場合は5秒に設定されます。

・IPルータアドレス

ルータのIPアドレスを設定します。(ルータの設定は一つのみです。)ルータを使用されない場合は、全て0に設定してください。

・サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。使用されない場合は、全て0に設定してください。

・UDP通信リトライ回数 (0 ~ 255)

UDP/IP通信を使用しないため、設定しても無効になります。

- 重要** ・ オフラインよりメモリの初期化をした場合、各設定値に不定値が設定されることがあります。GP-PRO/PB for Windows より再度GPシステムの設定をダウンロードしてください。

・相手局ノードの情報

<GP-477R/GP-577R/GP-2400/GP-2500/GP-2501/GP-2600/GLC2400/GLC2600 シリーズ>

相手局の情報		終了
ノード	IPアドレス	
1	192.168.1.1	
2	192.168.1.2	
3	192.168.1.3	
上記設定は作画ソフトで変更してください。		

<GP-377R/GP-2300/GLC2300 シリーズ>

相手局ノードの情報		終了
ノード	IPアドレス	
1	192.168.1.1	
2	192.168.1.2	
3	192.168.1.3	
上記設定は作画ソフトで変更してください		

・相手局ノードの情報

PLCのノードアドレスとIPアドレスの表示を行います。



**注意** ・ オフラインから相手局ノード情報の設定 / 変更はできません。GP-PRO/PB for Windows の「GPシステムの設定」「モードの設定」「ネットワーク情報の設定」からのみ設定 / 変更可能です。

参照 本マニュアル 8.8.3 環境設定例 GP-PRO/PB for Windows の設定



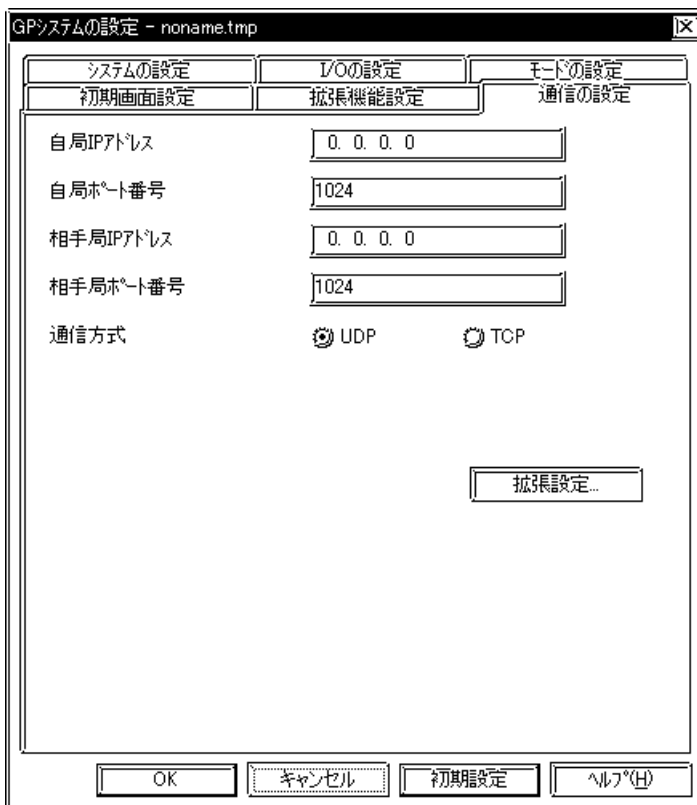
### GP-PRO/PB for Windows の設定

GP-PRO/PB for Windowsでの設定は、「GPシステムの設定」の「モードの設定」で行います。設定メニューと項目は以下の通りです。

メニュー	サブメニュー	項目
通信の設定	拡張設定	自局IPアドレス
		自局ポート番号
		送信ウェイト
		タイムアウト
		IPルータアドレス
		サブネットマスク
		UDPリトライ回数
モードの設定	ネットワーク情報 . . .	システム先頭アドレス
		読み込みエリアサイズ
		相手局ノードの情報
		相手局IPアドレス

#### 通信の設定

通信の設定画面は以下の通りです。



- **自局 IP アドレス(0 ~ 255)**

GPのIPアドレスを設定します。IPアドレスは全32ビットを8ビットごとの4つの組に分け、それぞれをドットで区切った10進数で入力してください。

- **自局ポート番号(1024 ~ 65535)**

GPのポート番号を設定します。

- **相手局 IP アドレス(0 ~ 255)**

この設定は使用しません。設定しても無効になります。

- ・ **相手局ポート番号(1024 ~ 65535)**

この設定は使用しません。設定しても無効になります。

- ・ **通信方式の選択**

この設定は使用しません。設定しても無効になります。

- ・ **拡張設定**

拡張設定画面は、以下の通りです。

- ・ **送信ウエイト(0 ~ 255)**

GPからのコマンド送信時にウエイト時間を入れることができます。

通信回線上のトラフィックが多い場合、ご使用ください。

設定が必要ない場合は、0に設定してください。

- ・ **タイムアウト(0 ~ 65535)**

タイムアウト値です。設定した時間内に、相手局より応答がない場合タイムアウトになります。0に設定すると、デフォルト値としてTCP/IP通信の場合は15秒、UDP/IP通信の場合は5秒に設定されます。

- ・ **IPルータアドレス**

ルータのIPアドレスを設定します。(ルータの設定は一つのみです。)

ルータを使用されない場合は、全て0に設定してください。

- ・ **サブネットマスク**

サブネットマスクを設定します。

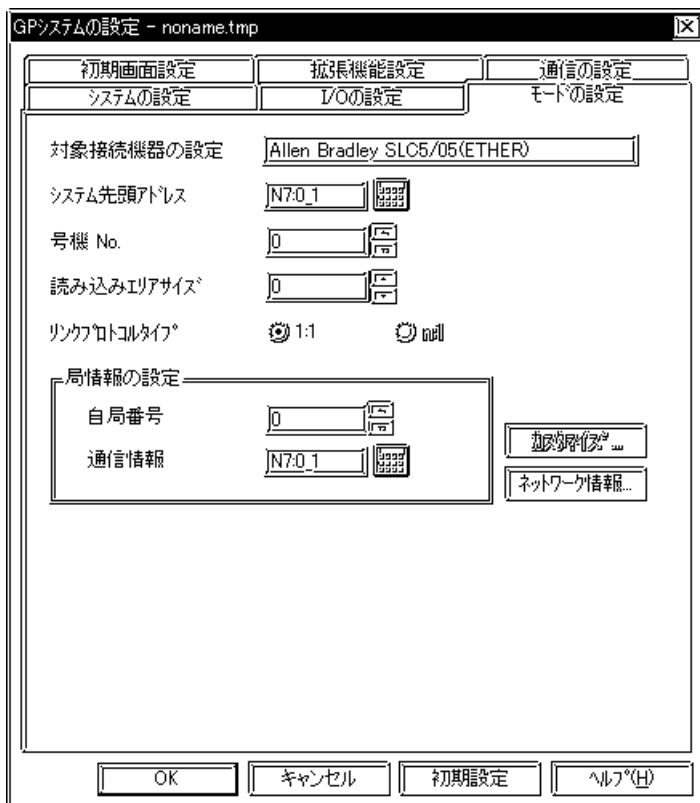
使用されない場合は、全て0に設定してください。

- ・ **UDP通信リトライ回数(0 ~ 255)**

UDP/IP通信を使用しないため、設定しても無効になります。

モードの設定

モードの設定は以下の通りです。



・システム先頭アドレス

指定したノードのPLCにシステム先頭アドレスが割り付けられます。入力方法については 8.8.2使用可能デバイス一覧を参照してください。

・ネットワーク情報の設定

[GPシステムの設定] [モードの設定]タブの[ネットワーク情報...]ボタンをクリックするとネットワーク情報の設定画面が表示されます。ここで、相手局ノード番号の設定を行います。



・相手局ノード番号の設定

各ノード番号に相手局PLCのIPアドレスの設定を行います。設定は、最大3ノードまで可能です。相手局ノード番号のIPアドレスは、ターゲットとなるPLCのIPアドレスを指定します。

## SLC500 シリーズ

GPの設定		PLC側の設定	
自局IPアドレス	GP自身のIPアドレス *1	_____	_____
自局ポート番号	GP自身のポート番号 *2	_____	_____
ネットワーク情報の設定	PLCのIPアドレス *1	IP Address	PLC自身のIPアドレス

\*1 設定値は、ネットワーク管理者に確認してください。自局IPアドレスが0.0.0.0の場合は、2Wayドライバ側で設定されたIPアドレスが有効になります。

\*2 GP2000シリーズで、内蔵イーサネットポートを使用する場合、「相手局ポート番号」は、2Wayドライバのポート番号と重ならないように設定してください。2Wayドライバのポート番号は、「初期設定」「動作環境の設定」「拡張設定」「イーサネット情報の設定」で確認できます。デフォルトで8000が設定されています。2Wayドライバは、この設定から連続して10のポート(8000～8009)を使用します。

**重要**・ PLCのポート番号は2222固定です。通信方式はTCP/IP通信となります。

## 8.8.4 エラーコード

参照 GPイーサネット特有のエラーコードにつきましては、本マニュアル7章末尾の「プロトコルスタックのエラーコード」を参照してください。

### PLC 特有のエラーコード

PLC特有のエラーコードは、「上位通信エラー(02:\*\*:##)」とGPの画面左下に表示されます。(\*\*はPLC特有のエラーコード，##はノード番号)

エラーコード	内容
10	デバイスの割りつけがされていない、もしくはアドレス範囲外

参照 エラーコードの詳細は、Rockwell (Allen-Bradley) SLC500シリーズのマニュアルを参照してください。

## 付録 1 連続アドレスの最大データ数

連続アドレスの読み出し時の最大データ数を示します。ブロック転送を利用される場合に、ご参照ください。

### SLC500 シリーズ

デバイス	連続アドレス読み出し 最大デバイス数
ビット	126ワード
タイマ(TT : タイミングビット)	42ワード
タイマ(DN : 完了ビット)	
タイマ(EN : イネーブル)	
タイマ(PRE : 設定値)	
タイマ(ACC : 現在値)	
カウンタ(CU : アップカウント)	
カウンタ(CD : ダウンカウント)	
カウンタ(DN : 完了ビット)	
カウンタ(OV : オーバーフロー)	
カウンタ(UN : アンダーフロー)	
カウンタ(UA : アップデート)	
カウンタ(PRE : 設定値)	
カウンタ(ACC : 現在値)	
コントロール(DN : 完了ビット)	
コントロール(EN : イネーブル)	
コントロール(ER : エラー)	
コントロール(UL : アンロード)	
コントロール(IN : インハイビット)	
コントロール(FD : ファンド)	
コントロール(LEN : レングス)	
コントロール(POS : ポジション)	
コントロール(EU : アンロード有効)	
コントロール(EM : スタック空)	
整数	126ワード
浮動小数点	63ワード

## 付録 2 デバイスコードとアドレスコード

SLC500シリーズでイーサネット通信する場合、EタグまたはKタグの間接アドレス指定はできません。

### 付録 3 アドレス一括変換表

下記にアドレス一括変換表を示します。

- : 変換モードにワードを設定すると、ワードとビットの両方を変換します。  
ビットを設定すると、ビットのみ変換します。
- : 変換モードにワードを設定すると、ワードのみ変換します。  
変換モードにビットを設定すると、ビットのみ変換します。
- : 変換モードにワードを設定すると、ワードのみ変換します。
- : 変換モードにビットを設定すると、ビットのみ変換します。

空白：変換できません。

#### SLC500 シリーズ

		変換後									
		B	T (TT/DN/ EN)	C (CU/CD/ DN/OV/ UN/UA)	R (DN/EN/ ER/UK/ IN/FD/ EU/EM)	T (PRE/ ACC)	C (PRE/ ACC)	R (LEN/ POS)	N	F	LS
変換前	ビット										
	タイマTT/DN/EN										
	カウンタ CU/CD/DN/OV/UN/UA										
	コントロール DN/EN/ER/UK/ IN/FD/EU/EM										
	タイマ PRE/ACC										
	カウンタ PRE/ACC										
	コントロール LEN/POS										
	整数										
	浮動小数点										
	LSエリア										